

事 務 連 絡

平成 30 年 7 月 18 日

各都道府県高体連会長 殿

全国高体連各専門部部長 殿

(公財) 全国高等学校体育連盟

専務理事 奈良 隆

体育活動中における熱中症予防に関する注意喚起について（依頼）

酷暑の候、今年度東海ブロック総体を直前に控え、皆様におかれましてはご多忙のことと存じます。

さて、件名のことにつきまして改めてご依頼申し上げます。

この夏の暑さは極めて厳しく、熱中症の発症件数等についても連日報道されています。中でも、愛知県豊田市の小学1年生の男子児童が重度の熱中症により亡くなったという報道は校種や年齢は異なるとは言え極めて残念であり心よりお悔み申し上げたいと思います。

夏季休業日を直前に控え各高校の運動部活動では学期中の練習に加え、夏季休業日中には学校外での合宿の実施や各競技大会への参加等が計画されていることと思います。本連盟では、先日実施いたしました理事長会においてインターハイにおける熱中症の予防についてお願いしたところですが、日常の運動部活動を中心とした体育活動全般における熱中症の予防についても、水分や塩分等の適切な補給、十分な休憩時間の確保、また、部員個々の体力や技能に応じた練習計画の見直し等々について様々な機会を通してご指導並びに注意喚起くださいますようお願い申し上げます。

以上